

鈴木清順監督作品

ツイゴイネルワイゼン

産地直送——フィルム歌舞伎

カラー作品35/mmスタンダードサイズ

シネマ・プラセット1980 vol.1



鈴木清順監督

生きているひとは死んでいて、
死んだひとこそ生きているような
むかし、
男の旁には
そこはかどない女の匂いがあった。
男にはいろ気があった。

●5万人突破!メモリアルイベント10/18(土)~10/22(水) サイン会+ティーチイン+上映

問い合わせ03(496)9146

吉祥寺 PARCO シネマ・プラセット10/18(土)オープン
(ツイゴイネルワイゼン)最終上映10月24日~11月7日

平 日		1:30	4:30	7:30
土・日・祝	10:30	1:30	4:30	7:30

特別鑑賞券1000円(当日1300円)
各プレイガイド、大学生協にて発売中



原田 芳雄
樹木 希林

大谷 直子
山谷 初男

大楠 道代
磨 赤 児

藤田 敏八
木村 有 希

真喜志さき子
玉 寄 長 政

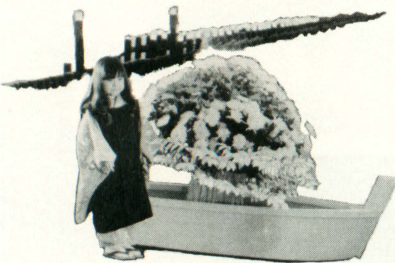


衝撃の話題作に絶賛の反響

映画に見る「風景」の表と裏「影武者」と対照的に「風景」が抜群に生きているのが鈴木清順監督の新作「ツイゴイネルワイゼン」だ。昭和初期を舞台に男女四人が織りなすこの「極彩色ミステリー」では、たとえば河にかかったいまでも朽ち果てそうな木の橋、ほとんど列車の通らない山間の鉄道、切り通しのむこうにある古い日本家屋、といった「見捨てられた風景」がカメラで丹念に拾い上げられる。どの風景も決して美しくはない。主演の一人、大楠道代(好演)のセリフに「水蜜桃は腐りかけている時が美しい」というのがあったが、それに倣えればこの映画の「風景」は「腐りかけて美しい」。(5/17朝日新聞)

“映画は夢、生々しく必見の傑作” いっさいの出来事は登場人物の妄(もう)想、とくに青地の病身の妹(真喜志さき子=新人)の幻覚なのかもしれない。そう思ったとたん、しかし、この映画のあまりのなまなましさに、ぞっとする。数多くの死人、骨のイメージの反復が、血肉をそなえて生きる人間の悲しみをにじみ出し、単純に妄想・幻覚とみなしてすますわけには、いかないのだ。いうまでもなく、映画というものは一つの夢の形である。そのことを、これほど奇々怪々かつなまなましく体現した作品は、ここ数年なかった。映画ファン必見の傑作といっていいい。(4/14サンケイ新聞)

衝撃とユーモアの大逆転 日本映画が、これまで余り取り組もうとしなかった領域の映画が現れた。サラサーテの肉声がはいっている「ツイゴイネルワイゼン」のSPレコードが象徴的に使われているところは内田百閒の小説がヒントだそうだが、文学の方でいえば、今昔物語から上田秋成や小泉八雲、さらに夢野久作や石川淳が描いてきたような世界に、まともに触れた映画である。(4/14読売新聞)



ともかく妙にたのしい映画だったね。この作品は「死」がテーマには違いないんだけど、全篇を通じてもあそばれているその「死」が実に心地よかった。いわゆる力んで主張するセリフはひとつもなくて、どのセリフも淡淡と、しかも、全篇に、その「死」の匂いが漂っていたにもかかわらず、その「死」がご大層なものにはなっていない……、いわゆるドラマの抑揚というもの意識的に避けている。全体的な印象としては「昼顔」や「突然、炎の如く」を観たときのよう気分を感じたね。長谷川和彦氏(4/28読書新聞)

最近見た映画の中から 黒沢さんの「影武者」は、よく部分部分の色彩感覚が美しいといわれているようですが、そういう意味での色彩感覚や、映像の構図のおもしろさということでは、「ツイゴイネルワイゼン」のほうが格段に上ですね。演技ということでは、やはり大楠道代(安田道代)はとてよよかったし、藤田敏八もよかったと思う。大谷直子がこれほど魅力的に見える映画をほかには他に知らないし、他にも樹木希林とか、原田芳雄、山谷初男なんかが好演していましたね。ぜひもう一度見たいと思っています。

五木寛之氏(6/7日刊ゲンダイ)

原田芳雄	伊中謙二	鈴木清順	大谷直子	真喜志さき子	磨 赤 児	樹木希林	木村有希	玉寄長政	佐々木すみ江	夢村四郎	米倉ゆき	江の島るび	紅沢ひかる	渡辺忠臣	間 崇史	小田美知	中沢青六	内山信子	堀 妙子	石井まさみ	川平京子	山谷初男	相倉久人	玉川伊佐男	大楠道代	藤田敏八
監督	脚本	撮影	照明	美術	音楽	録音	編集	制作	監督	監督	監督	監督	監督	監督	監督	監督	監督	監督	監督	監督	監督	監督	監督	監督	監督	監督
原田芳雄	伊中謙二	鈴木清順	大谷直子	真喜志さき子	磨 赤 児	樹木希林	木村有希	玉寄長政	佐々木すみ江	夢村四郎	米倉ゆき	江の島るび	紅沢ひかる	渡辺忠臣	間 崇史	小田美知	中沢青六	内山信子	堀 妙子	石井まさみ	川平京子	山谷初男	相倉久人	玉川伊佐男	大楠道代	藤田敏八